

技能・タスク型プログラム 活動(ユニット)案 中学2年生 「お礼の手紙を書く」

ユニット名	お礼の手紙を書く(書く)	
対象児童生徒	()小学低 ()小学中 (○)小学高 (◎)中学生 中学3年生 滞日2年半 出身: 出身国を特定しない 母語: 特定の母語を前提としない	
時間	(50)分×(1)回・(40)分×(2)回	
形態	(◎)少人数グループ (○)個別指導	
主な対象の日本語の力 [ものさし]	日常の出来事や学校での活動に関するトピックについて、既習の語彙・表現で話せ、聞いたり、読んだりすることができる。語彙選択や文法には誤りが見られるが、母語での文章構成の力を土台に、段落を意識して、簡単な複文を利用した文章を書くことができる。 [聞く・話す]ステップ: 4~5 [読む]ステップ: 4~5 [書く]ステップ: 4~5 [聞く・話す]ステージ: D・E [読む]ステージ: D・E [書く]ステージ: D・E	
目標 (Can-doで)	・相手に対する敬意を表す表現を使って、感謝の気持ちを手紙で伝えることができる。	
主な技能	目上の人にお礼の手紙を書く。	
タスク	中学校の卒業を前に、お世話になった先生へ、お礼の手紙を書いて渡す。 ・手紙の内容を構想し、下書きを書く。 ・書いた後章について、まとまりに気を付けながら推敲する。	
コア日本語語彙・表現	文型・文法 : 敬語(丁寧語・尊敬語・謙譲語) 召し上がる、いらっしゃる、ご覧になる ご存じ (〜)くださる 伺う、拝見する、いたす、お(会)する (〜)いただく 語彙・表現 ・お礼の表現:〜くださり、ありがとうございました。 ・〜に対して ・〜ために ・敬意を表す ・ ・語彙:手紙・電子メール/敬語・尊敬語・謙譲語・丁寧語/ 目上・目下、 頭語・結語(拝啓・敬具・かしこ)、時候のあいさつ	
主な活動	学習活動	学習方略
	① 敬語(丁寧語・尊敬語・謙譲語)の使い方を 知り、感謝を伝えるロールプレイを行う。(第 1回) ② 手紙(通信文)の形式を知り、先生への感謝 の手紙の内容を構想し、下書きを書く。(第 2回) ③ 下書きを推敲して手紙を完成させ、先生に 手渡す。(第3回)	・関係性の上下関係と丁寧語・尊敬語・謙 譲語の使い分けを図式化して理解する。 ・手紙に書きたい内容を、短く書き出し、選 択したり並べ替えたりして構成を決める。 ・頭語・結語等はモデル文のものをそのま ま利用したり例から選択して利用したりす る。 ・サンプルに照らして、手紙の推敲を行う。
アイデア	<生徒の多様性への対応> 理解には動画等の視覚的情報が必要な場合は、敬語に関する動画(NHK for school)を視 聴する。	
	<他のプログラム・教科との関係> 国語の通信文の書き方や、敬語表現に関する単元と関連付けて実施することができる。	

【1 回目の授業の学習活動案】

本時の目標	モデルの手紙を見て、敬語(丁寧語・尊敬語・謙讓語)に気づき、話し相手に合わせて、選択して利用することができる。(話す・書く)		
学習ストラテジー	上下関係と丁寧語・尊敬語・謙讓語の使い分けを図式化して理解する		
分	展開 (子ども主語)	活動時の表現 教師と子どもに分けて	○教材 ◇支援 △留意点
5	<p>導入</p> <p>1 今日のめあてを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 表現の違いから手紙の相手を想像する。 <p>・めあて「先生への手紙を書くために、敬語について学ぶ」を知る。</p>	<p>T: (2種類の手紙文を示し) 先生と友達、どちらに出す手紙ですか。</p> <p>S: Aは友達、Bは先生だと思います。</p> <p>T: どの表現でわかりましたか。</p> <p>S: Aは「～してくれて、ありがとう」だけど、Bは「～してくださり、ありがとうございます」です。</p> <p>T: 先生等、年上の人(目上)に敬意を表すときに使います。敬語と使います。先生に手紙を書くために、敬語を学びましょう。</p>	<p>○手紙2種類(同じ内容で、敬語を使ったものと普通体のもの)</p> <p>△違いを探させた後、誰に対する手紙かを想像させてもよい。</p>
35	<p>展開</p> <p>2 敬語の種類を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 目上の人(先生)の行動を尊敬語で表す。 自分の行動を謙讓語で表す。 尊敬語と謙讓語を、ワークシートで確認する。 <p>3 教師との会話場面を設定して、ロールプレイを行う。</p>	<p>T: 敬語には種類があります。尊敬語、謙讓語、丁寧語です。</p> <p>T: 質問を尊敬語で表現しましょう。</p> <p>S: 先生は、どこにいらっしゃいますか。</p> <p>先生はなんとおっしゃいましたか。</p> <p>先生、～していただけますか。</p> <p>T: 謙讓語で表現しましょう。</p> <p>S: ・～を教えてくださいました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 〇〇高校に進学いたします。 また、〇〇中学校に参ります。 先生にお会いしたいです。 <p>書き換える文: 先生が、明日は、8時30分から卒業式の練習がある<u>と</u>いった。卒業式では、中学校の制服を着る人が多いと教えてもらった。お世話になった先生に感謝の手紙を<u>あげたい</u>。</p> <p><ロールプレイ例></p> <p>A: 〇〇先生は、どこにいらっしゃいますか。</p> <p>B: 職員室ですよ。</p> <p>A: ありがとうございます。</p>	<p>○敬語カードと敬語の対応表(語彙・表現カード等にはルビを付す)</p> <p>◇尊敬語と謙讓語の使い分けをイメージ図で示す。</p> <p>△言い換える内容は、先生への感謝の手紙で使える内容にする。</p> <p>○ワークシート 尊敬語・謙讓語・丁寧語に書き換えるもの。</p> <p>○ロールプレイのためのロールカード</p>
10	<p>まとめ</p> <p>4 先生に感謝したいことを、敬語で書く。</p>	<p>T: 敬語について、何を学びましたか。</p> <p>S: 敬意を表すために、尊敬語は目上の人に、謙讓語は目下の人に使います。それから、丁寧語があります。</p>	<p>△活動2で示した敬語の表や図をしめしながら、確認をする。</p>

	5 次の授業で、手紙を書くことを知る。	T: 次回、お世話になった先生に手紙を書きます。考えてきてください。	
評価の対象と観点	<ul style="list-style-type: none"> ・活動2で、尊敬語、謙譲語、丁寧語に適切に書き換えができたか。 ・ロールプレイで、適した敬語表現を選択して、演じられたか。 ・先生へ敬語を使って手紙を書く活動に積極的に参加していたか。 		

【2回目の授業の学習活動案】

本時の目標	手紙の形式や定型表現を利用し、先生への感謝の手紙の下書きを書くことができる。(書く)		
学習ストラテジー	<ul style="list-style-type: none"> ・手紙に書きたい内容を、短く書き出し、選択したり並べ替えたりして構成を決める。 ・頭語・結語等は、モデル文の例をそのまま利用したり、例から選んで利用したりする。 		
分	展開 (子ども主語)	活動時の表現 教師と子どもに分けて	○教材 ◇支援 △留意点
5	<p>導入</p> <p>1 敬語の学習を振り返り、今日のめあてを確認する。</p>	<p>T: 先生の手紙では、どんな表現を使いますか。また、どんな例があります。</p> <p>S: 敬語です。例えば、～ていただき、ありがとうございましたです。</p>	<p>○敬語の対応表</p> <p>第1回で学んだ手紙文でよく使う敬語表現を板書。</p>
10	<p>展開</p> <p>2 手紙の型を確認する。</p> <p>・頭語、結語、時候のあいさつといった手紙の型を確認する。</p> <p>・季節に適した時候の挨拶を考える。 → 手紙の要旨に、頭語・結語・時候の挨拶を記入。</p>	<p>T: 日本の手紙の型です。どこが、共通していますか。</p> <p>S: 最初と最後が、全部同じです。それと、季節のことが書いてあります。</p> <p>T: 頭語、結語といいます。それから、時候の挨拶です。決まった形式です。</p> <p>T: あなたの国の手紙の書き方を教えてください。同じところがありますか。</p> <p>S: (国) でも、～。</p> <p>T: 時候の挨拶は、季節の挨拶です。3月は春の挨拶です(例の提示)。先生への手紙にどれを使いますか。なぜ?</p> <p>S: 「桜花の侯」。桜は日本の春のイメージだから。</p>	<p>○複数の手紙のサンプル。</p> <p>◇手紙の共通点から、定型かした形式があることに気づかせる。</p> <p>△母国の手紙の仕方をお互い簡単に説明させる。</p> <p>○時候の挨拶の例 (電子黒板等を利用して、視覚的にわかりやすく提示、あるいは、配布)</p>
15	<p>3 先生へのお礼の手紙の内容を決定する。</p> <p>・感謝を伝える相手を決める。</p> <p>・書きたいことを、書き出す。</p> <p>・順序付けをして精選し、並べて構成を決定する。する。</p>	<p>T: 感謝の手紙を誰に書きます。</p> <p>S: 通訳の先生に。助けてくれたから。</p> <p>T: いつ、何で困ったときですか。具体的に書きましょう。</p> <p>S: 日本に来たばかりでわからないことがたくさんありました。その時に、教えてくださいました。</p> <p>T: 書きたい順に番号をつけて、何を書くか決めましょう。</p> <p>S: 通訳をしてもらった。それから、進学の相談にのってくれた、それと、○○のおしゃべりをした。</p>	<p>◇先生との出来事やその時の自分の気持ちを対話の中で思い出させる。</p> <p>○タブレットのマッピングツールを活用する。</p> <p>△内容をすべて挙げた後、書きたい順に選択して、どの順番で書くか、手紙の構成を決めさせる。</p>

	4 下書きをする。 便箋形式のワークシートに書く。	T: どの順に手紙に書きますか。手紙のモデルを見ながら決めましょう。 T: 敬語の表現を使って 、手紙を書きましょう。	○ワークシート ◇敬語対応表や、板書されている表現を用いるよう促す。
5	本時のまとめ 5 手紙の型について復習し、手紙の内容について振り返る。	T: 手紙を書く時、何に気を付けましたか。 S: 頭語と結語、季節の挨拶 を書くこと。 気持ちを伝えるために敬語で表すこと 、具体的に書くことです。	△ワークシートを基に振り返らせる。
評価の対象と観点	<ul style="list-style-type: none"> ・活動2で、複数の手紙を見比べ、自国と比較し、日本の手紙の形式に気づいたか。 ・活動3で、感謝や伝わるように具体例を加えたり、伝える内容を選んだりしたか。 ・活動4で、手紙の型を理解し、敬語表現を意識して書こうとしていたか。 		

【3回目の授業の学習活動案】

本時の目標	先生への手紙を敬語に留意して推敲し、読み手を意識して丁寧に清書し、直接手渡して気持ちを伝えることができる。(書く)		
学習ストラテジー	・手紙のサンプルに照らして、自身の手紙の推敲を行う。		
分	展開 (子ども主語)	活動時の表現 教師と子どもに分けて	○教材 ◇支援 △留意点
5	導入 1 本時のめあてを確認する。	T: 先生への感謝の手紙の下書きをしました。今日は、その手紙を 推敲(見直して) 、 清書 します。きれいに書きます。	
30	展開 2 手紙の文例を見て、推敲するときの観点を決める。	T: 手紙の例です。どこを直すと、もっとよくなりますか。 S: 最後に、 敬具 がない。 S: 「です・ます」とか、 丁寧語 にしたほうが良い。 S: 先生に教えていただきました、に直したほうが良いと思う。 謙譲語 。 S: もう少し、具体的な方が良い。	○手紙の例 (修正が必要な表現や内容のもの) ◇生徒の発言を整えて、推敲の観点として板書する。(○またはチェック票を作成して記入できるようにする) ・ 敬語の使い方 尊敬語・丁寧語・謙譲語 ・ 頭語・結語・季節の挨拶 ・ 具体的か △生徒から修正点が出なかった場合は、問題箇所を明示的に示してどう修正すればよいか話し合う。
	3 自分の手紙を見直す	T: 手紙を直す時の 観点 はこれですね。(板書を読む)では、同じように、自分の手紙を 推敲 しましょう。	◇上記の観点以外の修正点については、教師が個別にやりとりしながら、気づかせ、修正を促す。
	4 便箋に清書する。	T: 最後に、丁寧に便箋に 清書 しましょう。 S: (清書する)	

	(5 手紙を音読して紹介し合う。)	T: 手紙を紹介しましょう。聞く人は、感想を言いましょう。 S: 私は、〇〇先生に、 部活動について感謝の気持ちを伝えるために、手紙を書きました。 聞いてください。 S: 〇〇さんの手紙は、敬語の使い方が上手で、敬意が伝わると思います。 S: 〇〇さんは、具体的に書いているので、気持ちが、よくわかります。	△生徒が手紙の紹介に対して消極的であれば行わない。 ◇話型を板書して利用を促す。「～さんへ、〇〇について、 感謝の気持ちを伝えるために、手紙を書きました。 」
5	6 まとめ 4の手紙を先生に渡してきて、その報告をする。	T: 手紙を、先生方に、渡してください。 T: 先生は、何とおっしゃいましたか。 S: ありがとうございます。ゆっくり読みますとおっしゃいました。	△上記話型を、先生に手紙を手渡すときにも利用させる。
評価の対象と観点	活動2で前2時間の学習を思い起こし、推敲の観点を挙げることができたか。 活動2で、推敲の観点を意識し、手紙の表現、敬語を適切に修正できたか。 活動4で、丁寧に清書できたか。 (活動5で、手紙を紹介し、他の人の手紙に観点を基に感想を述べられたか。)		